

2020年度（2021年3月期） 通期決算説明会資料

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
2021年4月28日



- ・本資料に記載されている業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、経済情勢をはじめさまざまな要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おきください。
- ・本資料における数値表記については、2020年度より単位未満を切り捨てから四捨五入に変更いたしました。それに伴い、2019年度の数値も同様の表記に変更いたしました。

Copyright©2021 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

I

2020年度通期
決算概況

II

2021年度～2023年度
中期経営計画

III

2021年度
業績予想

コロナの影響を受けつつも、
5Gビジネスやお客様のDX実現に向けた着実な進展
に加え、継続的な利益率向上の取組みが奏功

- 2006年度の統合後、
売上収益を除く**全ての利益項目で最高益を達成**
 - ・営業利益率は、**統合後初の9%台へ**
 - ・当社株主に帰属する当期純利益は、**7期連続最高益更新**
- 受注高が5000億円突破、受注残高は**統合後最高値**

2020年度通期実績（前年比）

（億円）

	2019年度	2020年度	前年比	増減率	期初 業績予想
売 上 収 益	4,870	4,799	▲71	▲1.5%	5,000
売 上 総 利 益	1,181	1,215	+34	+2.9%	1,236
（売上総利益率）	(24.2%)	(25.3%)	(+1.1p)	-	(24.7%)
その他の収益及び費用	▲764	▲778	▲15	+1.9%	▲790
営 業 利 益	417	436	+20	+4.7%	446
（営業利益率）	(8.6%)	(9.1%)	(+0.5p)	-	(8.9%)
当社株主に帰属する 当 期 純 利 益	285	305	+20	+7.2%	300
受 注 高	4,907	5,225	+318	+6.5%	5,050
受 注 残 高	2,723	3,149	+426	+15.6%	2,773
ROE	12.6%	12.5%	▲0.1p	-	



Copyright©2021 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

4

2020年度通期実績（前年比）

【売上収益】

通信、官公庁、政府系金融機関向けなどが増加したものの、流通、製造向けや国内外事業会社で減少

【売上総利益】

減収による減益があったものの、利益率の改善により増益

※「開発不採算」を除いた売上総利益率は、前年比+1.2p改善

【その他の収益及び費用】

主に人件費の増加により、販売管理費が増加

【営業利益】

売上総利益の増益により増益

【当社株主に帰属する当期純利益】

営業利益の増益により増益

【受注高】

通信や社会インフラ、流通などで増加

【受注残高】

通信、社会インフラなどで増加

事業グループ別実績

(億円)

	受注高			売上収益			受注残高		
	2019年度	2020年度	前年比	2019年度	2020年度	前年比	2019年度末	2020年度末	前年比
エンタープライズ	1,174	1,172	▲2	1,122	1,090	▲32	655	741	+85
流通	465	499	+34	529	477	▲52	280	302	+22
情報通信	1,762	2,078	+316	1,734	1,786	+52	810	1,099	+289
広域・社会インフラ	604	691	+87	608	624	+16	472	540	+67
金融	283	247	▲36	241	246	+5	198	199	+1
その他	619	537	▲82	636	576	▲60	308	269	▲38
連結	4,907	5,225	+318	4,870	4,799	▲71	2,723	3,149	+426



Copyright©2021 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

5

事業グループ別実績（前年比）

【エンタープライズ】

受注はほぼ横ばい

売上は製造やエネルギー向けインフラなどが減少

【流通】

受注は流通向け開発などが増加

売上は流通向け開発、カード向けインフラや開発などが減少

【情報通信】

受注、売上ともに通信向けインフラや5G関連案件などが増加

【広域・社会インフラ】

受注は主に社会インフラ向けインフラなどが増加

売上は官公庁や鉄道向けインフラ・開発などが増加

【金融】

受注はメガバンク向け開発及びインフラなどが減少

売上はほぼ横ばい

【その他】

受注・売上ともに国内外事業会社におけるインフラや運用などが減少

ビジネスモデル別実績

(億円)

	受注高			売上収益			受注残高		
	2019年度	2020年度	前年比	2019年度	2020年度	前年比	2019年度末	2020年度末	前年比
サービス	1,991 (40.6%)	2,141 (41.0%)	+150	1,925 (39.5%)	1,954 (40.7%)	+29	1,972 (72.4%)	2,159 (68.6%)	+187
開発・SI	1,005 (20.5%)	1,130 (21.6%)	+125	1,050 (21.6%)	1,033 (21.5%)	▲17	273 (10.0%)	370 (11.7%)	+97
製品	1,910 (38.9%)	1,954 (37.4%)	+43	1,895 (38.9%)	1,812 (37.8%)	▲83	478 (17.6%)	620 (19.7%)	+142
連結	4,907	5,225	+318	4,870	4,799	▲71	2,723	3,149	+426



Copyright©2021 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

6

ビジネスモデル別実績（前年比）

【サービス】

受注は小売系金融向け運用や社会インフラ向け保守などが増加
売上はエネルギー、官公庁向け保守・運用などが増加

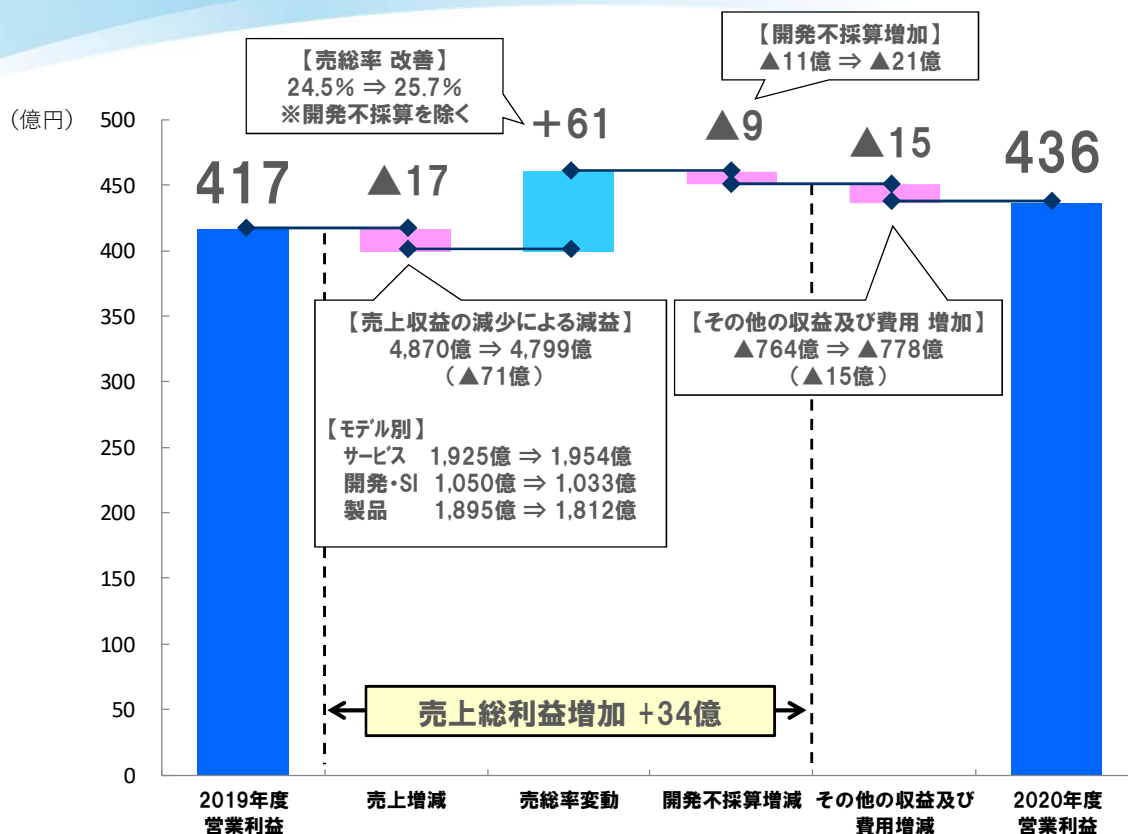
【開発・SI】

受注は通信向けインフラ構築などが増加
売上は流通向け開発などが減少

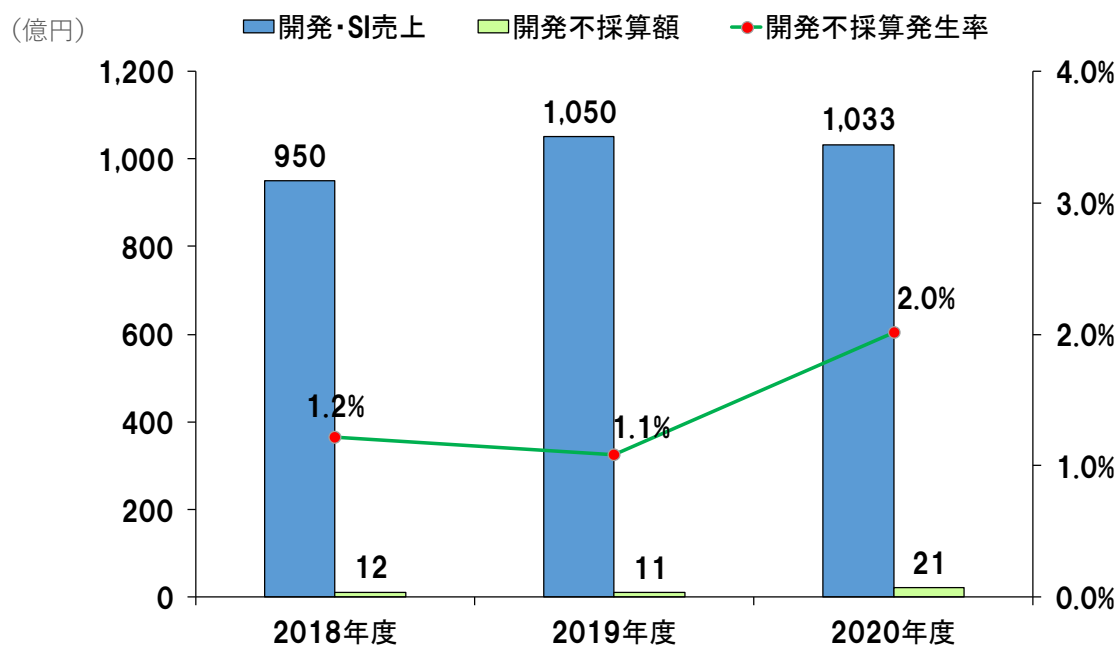
【製品】

受注は通信向けインフラ・5G関連案件や、社会インフラ向けインフラなどが増加
売上はエネルギーや製造向けインフラ及び海外事業会社向け案件などが減少

営業利益増減要因（前年比）



(参考) 開発・SI売上高と開発不採算



その他の収益及び費用 内訳

(億円)

	2019年度	2020年度	前年比
人件費	▲436	▲471	▲34
委託社員受入費	▲62	▲73	▲11
減価償却費	▲63	▲97	▲34
その他	▲193	▲153	+40
販売費及び一般管理費計	▲755	▲793	▲39
その他の収益	8	18	+10
その他の費用	▲18	▲4	+14
その他の収益及び費用	▲764	▲778	▲15



Copyright©2021 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

9

その他の収益及び費用内訳 (前年比)

【人件費】

- ・社員数の増加、昇給、業績連動賞与による増加
- ・上期を中心に開発案件の一時的な中断・延期（コロナウイルス感染症の影響）や、新規案件獲得に向けたプリセールス活動の増加などによる原価への振替額の減少

【減価償却費】

- ・オフィス移転に伴う固定資産の加速償却など

【その他】

- ・出張の減少による旅費、海外旅費や交際費の減少など

※オフィス移転に伴う損益が「減価償却費」と「その他」に分かれて計上されているが、ネットインパクトは軽微。

【その他の収益】

- ・IT損害賠償保険の増加など

【その他の費用】

- ・前年同期の海外事業会社に関わる、のれん減損の反動減などによる減少

連結財政状態計算書

(億円)

	2019年度末	2020年度末	前年度末比
流動資産	3,247	3,537	+289
非流動資産	1,141	1,091	▲50
資産合計	4,388	4,627	+239
流動負債	1,626	1,728	+102
非流動負債	376	273	▲103
負債合計	2,003	2,001	▲1
資本合計	2,386	2,626	+240
負債及び資本合計	4,388	4,627	+239



Copyright©2021 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

10

主な内訳

① 流動資産：	+ 289
現金及び現金同等物	+ 63
営業債権及びその他の債権	+ 24
棚卸資産	+ 122
その他の金融資産(短期)	+ 45
その他の流動資産	+ 33
② 非流動資産：	▲ 50
有形固定資産	▲ 104
のれん	+ 13
無形資産	▲ 12
関係会社株式	+ 13
その他の金融資産(長期)	+ 27
その他の非流動資産	+ 14
③ 流動負債：	+ 102
営業債務及びその他の債務(短期)	▲ 8
未払法人所得税	▲ 4
従業員給付(短期)	+ 5
引当金(短期)	+ 38
その他の流動負債	+ 90
その他の金融負債(短期)	▲ 20
④ 非流動負債：	▲ 103
長期金融負債	▲ 91
引当金(長期)	▲ 12
⑤ 資本：	+ 240
利益剰余金	+ 173
その他評価差額金累計	+ 26

連結キャッシュフロー

(億円)

	2019年度	2020年度	前年比
現金及び現金同等物の期首残高	589	746	+157
営業活動によるキャッシュ・フロー	501	373	▲128
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲172	▲101	+71
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲171	▲211	▲39
現金及び現金同等物の期末残高	746	809	+63
フリー・キャッシュ・フロー	329	271	▲58

主な内訳	2019年度	2020年度	前年比
営業活動によるキャッシュ・フロー	501	373	▲128
税金等調整前当期純利益	415	440	+24
営業債権及びその他の債権の増減額	▲118	▲66	+51
棚卸資産の増減額	16	▲120	▲136
営業債務及びその他の債務の増減額	8	▲13	▲21
減価償却費及び償却費	162	197	+34
法人所得税の支払額	▲125	▲153	▲28
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲172	▲101	+71
有形固定資産の取得による支出	▲49	▲39	+10
無形資産の取得による支出	▲21	▲18	+2
敷金及び保証金の差入による支出	-	▲38	▲38
関連会社株式の取得による支出	▲37	▲10	+27
子会社株式の取得による支出	▲69	-	+69
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲171	▲211	▲39
当社株主への配当金の支払額	▲124	▲143	▲20
リース負債の返済による支出	▲120	▲114	+6
セール・アンド・リースバックによる収入	73	49	▲24

(参考) 2020年度Q4 (1-3月) 実績

(億円)

	2019年度 Q4	2020年度 Q4	前年同期比	増減率
売上収益	1,597	1,490	▲107	▲6.7%
売上総利益	394	406	+13	+3.2%
(売上総利益率)	(24.7%)	(27.3%)	(+2.6p)	-
その他の収益及び費用	▲219	▲200	+19	▲8.7%
営業利益	175	207	+32	+18.1%
(営業利益率)	(11.0%)	(13.9%)	(+2.9p)	-
当社株主に帰属する 四半期純利益	123	146	+23	+19.0%
受注高	1,698	1,824	+126	+7.4%
受注残高	2,723	3,149	+426	+15.6%



Copyright©2021 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

12

2020年度Q4(1-3月)実績 (前年同期比)

【売上収益】

通信、流通向けなどが減少

【売上総利益】

売上総利益率の改善により増益

※「開発不採算」を除いた売上総利益率は、前年同期比+2.9p改善

【その他の収益及び費用】

IT損害賠償保険などの「その他の収益」の増加や、前年同期の海外事業会社に関わるのれん減損などの「その他の費用」の反動減により改善

【営業利益】

売上総利益の増益及び「その他の収益及び費用」の改善により増益

【当社株主に帰属する四半期純利益】

営業利益の増益により増益

【受注高】

小売系金融、運輸、通信、社会インフラ向けなどが増加

(参考) 2020年度Q4 (1-3月)
事業グループ別/ビジネスモデル別実績

(億円)

		受注高			売上収益		
		2019年度 Q4	2020年度 Q4	前年 同期比	2019年度 Q4	2020年度 Q4	前年 同期比
事業 グループ 別	エンタープライズ	337	411	+75	331	318	▲13
	流通	192	207	+15	144	129	▲15
	情報通信	661	720	+59	706	630	▲76
	広域・社会 インフラ	166	203	+37	194	193	▲1
	金融	114	91	▲24	72	71	▲1
	その他	228	192	▲36	149	149	▲1
	連結	1,698	1,824	+126	1,597	1,490	▲107
ビ ジ ネ ス モ デ ル 別	サービス	876	1,035	+159	505	527	+23
	開発・SI	243	301	+58	311	321	+10
	製品	579	488	▲91	781	641	▲140
	連結	1,698	1,824	+126	1,597	1,490	▲107



Copyright©2021 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

13

事業グループ別実績（前年同期比）

【エンタープライズ】

受注は小売系金融、運輸、医薬向けサービスなどが増加

売上は製造、エネルギー向けインフラなどが減少

【流通】

受注は流通、保険向けサービスなどが増加、売上は流通向け開発などが減少

【情報通信】

受注は5G関連案件などが増加、売上は通信向けインフラなどが減少

【広域・社会インフラ】

受注は社会インフラ向けクラウドやサービス、文教向けインフラなどが増加

売上はほぼ横ばい

【金融】

受注は銀行向けインフラなどが減少、売上はほぼ横ばい

【その他】

受注は海外事業会社におけるインフラ案件の反動などで減少、売上はほぼ横ばい

ビジネスモデル別実績（前年同期比）

【サービス】

受注は小売系金融、流通、通信、社会インフラ向け保守、クラウド、サービスなどが増加

売上は海外事業会社のサービスなどが増加

【開発・SI】

受注は通信、製造向けインフラ構築などが増加

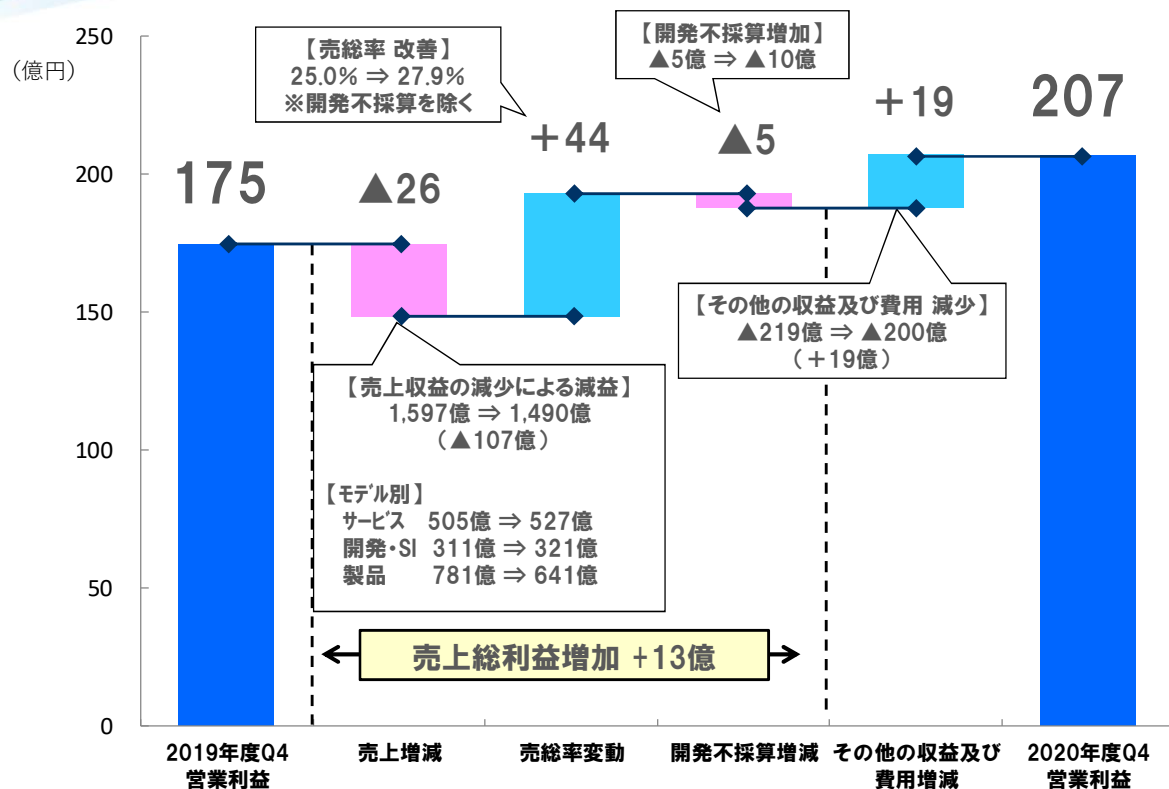
売上は通信向けインフラ構築などが増加

【製品】

受注は通信向けや海外事業会社におけるインフラなどが減少

売上は製造、通信向けインフラなどが減少

(参考) 2020年度Q4 (1-3月)
営業利益増減要因 (前年同期比)



(参考) 2020年度Q4 (1-3月)
その他の収益及び費用 内訳

(億円)

	2019年度 Q4	2020年度 Q4	前年 同期比
人件費	▲118	▲119	▲1
委託社員受入費	▲15	▲17	▲2
減価償却費	▲18	▲46	▲28
その他	▲54	▲28	+27
販売費及び一般管理費計	▲206	▲210	▲4
その他の収益	4	12	+8
その他の費用	▲16	▲1	+15
その他の収益及び費用	▲219	▲200	+19



Copyright©2021 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

15

その他の収益及び費用内訳 (前年同期比)

【人件費】

- ・社員数の増加、昇給による増加
- ・計画に沿った賞与引当が増加するものの、実績反映した賞与引当調整により減少

【減価償却費】

- ・オフィス移転に伴う固定資産の加速償却など

【その他】

- ・出張の減少による旅費、海外旅費や交際費の減少など

※オフィス移転に伴う損益が「減価償却費」と「その他」に分かれて計上されているが、ネットインパクトは軽微。

【その他の収益】

- ・IT損害賠償保険の増加など

【その他の費用】

- ・前年同期の海外事業会社に関わる、のれん減損の反動減などによる減少

新型コロナウイルス感染症に関する影響について 2020年度（実績）

- ・ マイナス影響 > プラス影響
 - ・ 下期の受注は回復するも、
上期における受注の前年同期比減少により
通期売上収益は減収
 - ・ 一部の顧客や地域では影響が長期化
（収束との二極化）
- 上記は概ね、想定内の推移



I

2020年度通期

決算概況

II

2021年度～2023年度

中期経営計画

III

2021年度

業績予想



前中期経営計画の振り返り（定量）

Opening New Horizons

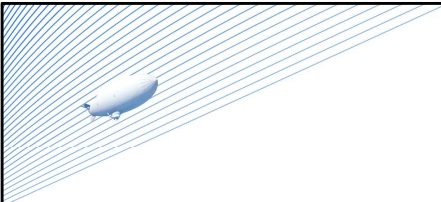
新しい景色を見るために

		目標	実績
収益力強化	当社株主に帰属する 当期純利益	300 億円	305 億円
注力ビジネス での成長	クラウド・ITアウト ソーシングビジネス	600 億円	716 億円
	グローバル関連 ビジネス	600 億円	617 億円
資本効率向上	ROE	12 %以上	12.5 %



前中期経営計画の振り返り（定性）

重点テーマ		レビュー	
上に広げる	ビジネス変革への挑戦	<ul style="list-style-type: none">● 重点顧客向けデジタルビジネスの進展● アジャイル開発、ローコード開発強化	○
前に伸ばす	強みをさらに強く	<ul style="list-style-type: none">● 大規模インフラ、ネットワーク領域における強みの維持、拡大● クラウド等リカーリング型ビジネスモデルの伸長	◎
外に出る	新たな分野・リージョンの開拓	<ul style="list-style-type: none">● インドネシア、マレーシア、アメリカでの投資実行● CVC活用による新事業の創出	◎
足元を固める	経営基盤の強化	<ul style="list-style-type: none">● 働き方変革、健康経営、女性活躍の推進● コーポレートガバナンス体制の変更● 12期連続増配（予定）	◎



新中期経営計画の詳細については
下記URLに掲載されております
『2021-2023年度中期経営計画』をご覧ください。

<https://www.ctc-g.co.jp/company/ir/library/results.html>



定量目標 2023年度

顧客、社会に対する価値領域を拡大し、
収益力と資本効率の更なる向上を目指す

	2020年度 実績		2023年度 目標
営業利益率	9.1 %		10 %
当社株主に帰属する 当期純利益	305 億円	▶	400 億円
ROE	12.5 %		13 %以上



I

2020年度通期

決算概況

II

2021年度～2023年度

中期経営計画

III

2021年度

業績予想



2021年度 業績予想

(億円)

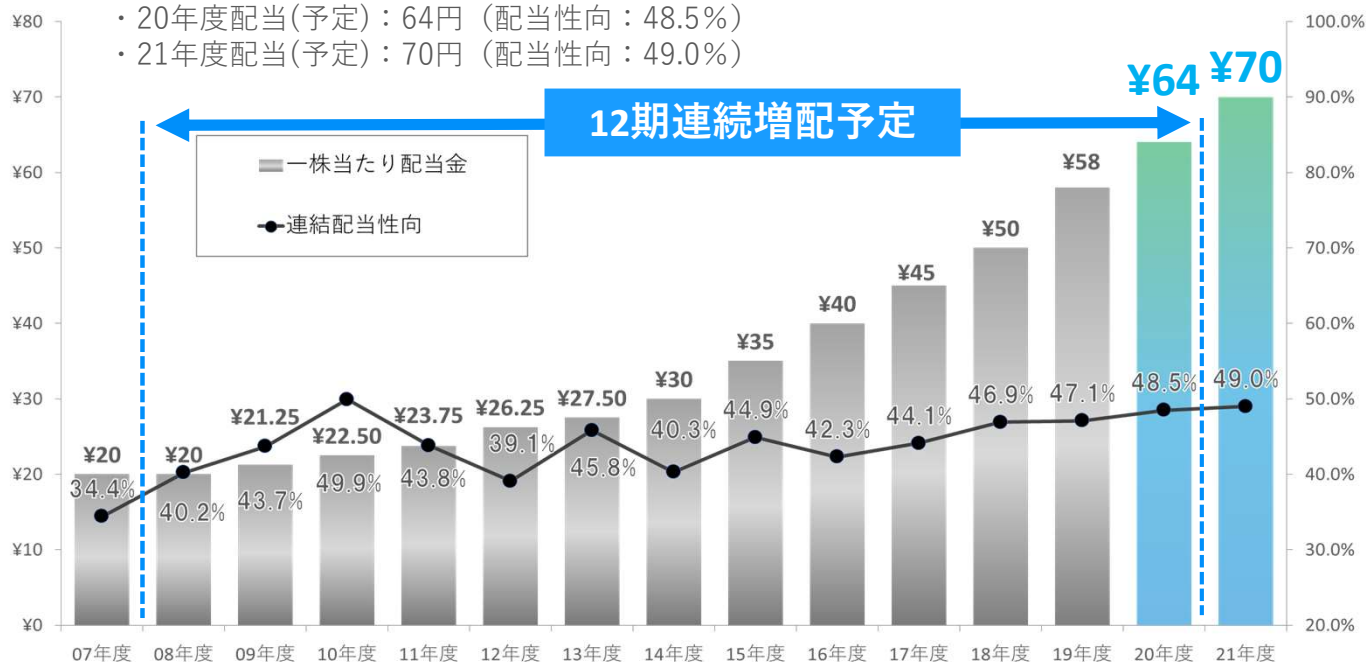
	2020年度 実績	2021年度 業績予想	前年比	増減率
売 上 収 益	4,799	5,200	+401	+8.4%
売 上 総 利 益	1,215	1,320	+105	+8.7%
(売 上 総 利 益 率)	(25.3%)	(25.4%)	(+0.1p)	-
そ の 他 の 収 益 及 び 費 用	▲778	▲835	▲57	+7.3%
営 業 利 益	436	485	+49	+11.2%
(営 業 利 益 率)	(9.1%)	(9.3%)	(+0.2p)	-
当 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	305	330	+25	+8.2%
受 注 高	5,225	5,350	+125	+2.4%
受 注 残 高	3,149	3,299	+150	+4.8%

株主還元予定

安定的かつ業績連動を意識した配当を実施（配当性向45%程度を目安）

20年度は、一株当たり配当金を期初予定63円から+1円増額し、64円(前年比+6円)とする予定

- ・ 20年度配当(予定)：64円（配当性向：48.5%）
- ・ 21年度配当(予定)：70円（配当性向：49.0%）



※当社は、2015年および2018年4月1日をもって普通株式1株を2株に分割する「株式分割」を行っており、(予定) (予定)
14年度以前の実績については、株式分割後に換算した値で表示しています。

※上記グラフの配当性向は、小数点第1位を四捨五入した値で表示しています。



Beyond the Horizons

▀ その先の未来へ

CTC

▀ Challenging Tomorrow's Changes

Copyright©2021 ITOCHU Techno-Solutions Corporation